



2011年9月、東京都から和気町へ母子避難。

2012年2月、家族がそろう。

ノコギリ鎌ひとつで米が作れると知り、田んぼを始める。

はじめて自分たちで作った米の味は格別だった。

2013年3月、3女誕生。新しいイノチの明るさは驚くほど新鮮で、有り難いものだった。

この春、総社市阿曾へ転居。田畑に触れる生活をベースにまた新たな暮らしが始まる。

移住して3年、ようやく自分たちの「暮らし」を考えられるところまでできた気がする。

家族のカタチ 2

加藤晋平 写真展

料金別納郵便

TENPLA SELECTION  天プラ・セレクション

天プラ・セレクションは、岡山県ゆかりの美術作家を個展形式で紹介する、天神山文化プラザの企画展シリーズです。


加藤晋平は岡山市在住の写真家です。

東日本大震災と福島原発の事故後、放射能汚染の影響を懸念して、2011年に家族4人で東京から岡山へ移住。同じように多くの人が岡山に移ってきたことを知ります。「彼らはこの岡山の地で何を思い、どういう人生を歩み始めたのか。自分の目と耳で確かめ、写真に記録して留めておきたい。」加藤は移住家族を訪ね、対話を重ねながら、彼らの現在の姿を撮影するようになりました。その行為は「それぞれの家族の存在、流れる時間、そこにある感情を観察し、丁寧になぞるような作業であった」と言います。

本展では、2012年より加藤が取材した避難・移住家族の肖像写真と言葉で構成する「家族のカタチ」をご覧ください。

岡山県天神山文化プラザ
〒700-0814 岡山市北区天神町 8-54
Tel: 086-226-5005
Web: www.tenplaza.info

主催 /  天神山文化プラザ
Tenshinyama Cultural Plaza of Okayama Prefecture

助成 /  公益財団法人 福武教育文化振興財団

岡山県天神山文化プラザ企画展

[天プラ・セレクション] vol.60

加藤 晋平 写真展 家族のカタチ 2

岡山県天神山文化プラザ2階第4展示室

2014年5月6日(火)～5月11日(日)

10時～18時(最終日は16時まで)

入場無料

略歴

1976 ニューヨーク州生まれ

2000 駒澤大学卒業

2002 日本写真芸術専門学校中退

2009 無印良品撮影室を経て独立

2011 原発事故をきっかけに東京都から岡山市へ移住

2012 震災・原発事故による避難・移住者家族の撮影を始める

展示

2013 家族のカタチ(岡南教会/岡山市)

2014 家族のカタチ
(スローギャラリー/東京国分寺)

